

はなみずき

2021年(令和 3年) 2月号

令和3年を迎え初めてのはなみずきです。昨年は新型コロナウイルスによる、世界が今までに経験したことのない一年となりました。当苑では、感染者を出すことなく新しい年を迎える事ができました。これもひとえにご家族様をはじめ、ボランティアの皆様ならびに各関係機関の皆様にご支援いただいたおかげと、心より感謝申し上げます。

感染拡大に伴い日常生活に様々な支障をきたし、ご利用者様の生活、ご家族様の生活が変わりました。日々変動していく情報の中で不安な日々を送られていると思えます。スタッフ一同ご利用者様の安全を最優先に考え、生活の質が下がらないように、楽しみを持ち毎日が過ごせるように世の中の状況に合わせた柔軟な対応を実施しています。

新しく当苑に入所されるご利用者様の中には、病院や施設などで面会が行われず当苑入所日に家族と数ヶ月振りに逢うことができた方、ご家族様からは久しく逢ってない間に身体・認知機能が低下され驚かれた方もいらつしやいます。自分の親兄弟親族に逢うことができないこの状況を作った新型コロナウイルスの怖さを実感します。

一日も早く感染が終息することを祈り、大切な人にも逢うことができるように、本年も更なる感染予防に努め、ご利用者様が安心して生活できるように一層の努力をして参りますので、今後共にご支援を宜しく願います。ご家族様におかれましては不安な日々をお過ごしのことと存じます。本年が皆様にとって安心できる一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

総括主任 兒玉博司

令和3年の初詣

今年の初詣はコロナの関係で半分以上が中止になってしまいましたが、車にて行かれた利用者様方は、とても楽しそうに車の中から外の景色を眺めたり、他利用者同士で会話をされたり、神社の前では手を合わせるなどをされ、初詣を楽しまれていました。今年はこのような状況でしたが、来年は近くの広尾神社に車椅子を押して、お神籤を引いたり、写真を撮ったりして、今年の分までも盛り上げれば良いなあと思う感じました。

3階 介護職員 高橋英和



靖国神社



港区内七福神巡り



愛宕神社

2月といえば節分!

節分行事担当の2階介護職員大脇です。鬼といえば、漫画「鬼滅の刃」が流行していますね。私には5歳になる甥がいます。彼は「鬼滅の刃」のことを「秘密のドライブ」と覚えています。節分「豆まき」。「鬼は外!」「福は内!」ですが、こんなに新型コロナウイルスが猛威を振るう中、鬼を追い出すよりも鬼と協力してコロナを退治したい、と考えてしまいます。敵が変われば見方も変わるといふ事ですか。ご家族に置かれましてはアクリル板越しの面 会も出来ず、どれだけ寂しく、不安な日々を 過ごされているだろうと胸が痛みます。利用者さまに声掛けするときには、なるべくご家族の名前を出しています。お名前を聞くだけで利用者様の表情が綻ぶのがわかります。私たち職員は利用者様とソーシャルディスタンスを保つことは出来ません。耳元でお話しし、手を握り、皆さまに寄り添った暖かみのある介護を提供しています。一日も早くご家族が 面会に来れますように。「秘密のドライブ」が誰しも安定に暮らすことが出来る世の中に向かってハンドルを切ってくれたらいいな。

2階 介護職員 大脇幸恵

鬼は外
福は内



節分当日のおやつ

余暇委員より新年のあいさつと抱負

おけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願い致します。
このちよつとした挨拶も、直接できない環境ですが、苑では概ね、変わりのない日々が続いています。

今からちょうど一年前、私には関係ないと思っていたCOVID-19も、今や身近で隣り合わせな話題です。自分が感染してしまうかもと行動範囲を制限していますが、同世代の感染者が一番多く、やるせない思いでいっぱいです。

余暇委員として自身も、利用者様も少しの楽しみがあるようにと、苑内で出来るクラブを検討しています。その中の張り絵クラブでは、手でちぎったり、指で張り付けたりと手作業が多く、アプローチの仕方出来る利用者様が広がるクラブだと思っています。また、遠出や買い物には行けません。また、苑の周りを散歩したりベランダで風を浴びたり、車でドライブに行ってみたり；職員の出来る事を生かして様々なクラブ活動を行っています。

毎日ずっと笑顔でいることは時折難しいこともあります。それでも、一人一人の利用者様とのかかわりを大切にできるよう、これからも忘れないように。明るい声掛けと穏やかな気持ちをもって今日を大切にしていきたいと思しますので、これからもよろしくお願い致します。

3階 余暇委員 西澤雅



貼り絵クラブ

餅つきを行いました

昨年の餅つきは、十二月二十三日に行いました。餅つきは年末の定番行事となっておりますが、おとしは行うことが出来なかったのも、二年ぶりの開催となりました。餅つきには「子孫繁栄」、「一族の繁栄」を願う種の行事だといわれているようです。正月だけではなく、かつては結婚式や家の新築祝いでも餅つきが行われていたそうです。

苑では、普段はボランティアさんが来訪し餅つきを行っていましたが、コロナ禍で苑の職員のみで行いました。皆の「ヨイショ！」の掛け声の中、職員がもちを搗き、途中からは利用者さまにも順番に杵を持っていただき、職員と一緒に餅をつき、完成させることが出来ました。皆様が楽しんでにされておられ、想像していた以上に盛り上がりつつあったように感じました。当日のやりつは、完成したお餅を 提供できませんでしたが、お餅に似た触感で作ったゼンザイを召し上がりました。

よいしょ！



緊急事態宣言中の面会禁止

新型コロナウイルス感染症に係る、施設内感染予防のため、ご面会につきましては、原則禁止とさせて頂いております。外出・外泊も通院等の特別な場合を除きまして、お控え頂いております。緊急事態宣言が解除されましたら、引き続き感染予防対策のもと1日5組までの予約制で再開する予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

行事予定

3月3日 雛祭り
3月22日～3月31日 お花見

料理クラブ
プリンアラモード



陶芸クラブ



発行者
社会福祉法人
恩賜財団慶福育児会
特別養護老人ホーム
麻布慶福苑
〒106-0047
東京都港区南麻布5-1-20
TEL.03-3446-5501
<http://www.azabukeihukuen.com>

皆様からのご意見・ご感想
をお寄せ下さい。お待ちしております